



演
芸
資
料
展

見世物の近代

— 開国から明治の時代

令和2年

12月1日〔火〕～3月21日〔日〕

令和3年

〔休室日は裏面に記載〕

午前10時～午後5時 入場無料

国立演芸場1階・演芸資料展示室



Engei Exhibition
the Modern age of MISEMONO
From the opening of Japan to the Meiji era

Admission: Free
Dates: December 1 (Tue), 2020 – March 21 (Sun), 2021
Hours: 10:00–17:00
Closed: 12/21, 22, 24~31, 1/1, 8~10, 21~31, 2/22, 24, 25, 28

National Engei Hall · Exhibition room
Address: 4-1, Hayabusa-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8656





演芸資料展

見世物の「近代」

開国から明治の時代

令和2年12月1日[火]～令和3年3月21日[日] 午前10時～午後5時

休室日:12/21, 22, 24～31, 1/1, 8～10, 21～31, 2/22, 24, 25, 28

※公演の都合により変更になる場合があります。



2

入場無料

国立演芸場のチケットをお持ちでない方もご覧いただけます。

開国から明治の時代の日本へは、海外からの人、モノ、技術、文化が大波となって押し寄せた。それ以前の「鎖国」下にあっても、中国またオランダとの長崎貿易などを通じた海外文物が限定的に入っていたが、開国以降のくに横浜へは、欧米各国からの製品、世界各地の産品、西洋文物が堰を切ったように大量に流れ込み、日本の「西洋化」「西洋的近代化」が急速に進められていく。

庶民娯楽である見世物の世界も、同じ流れのなかに置かれた。開国により、外交使節だけでなく民間人が来日できるようになったことは重要であり、早くも元治元年(1864)の横浜居留地ではアメリカ人興行師が曲馬興行をおこなっている。開国はまた珍しい異国の動物を次々ともたらし、舶来動物の見世物が興行界をにぎわす。明治期に各国からやってきた西洋曲馬・サーカスは見世物の新しい華となり、その影響を受けながら日本のサーカスが生まれていく。ほかにも新奇な欧米の見世物が続々と来日して注目をあび、ときにはそれは歌舞伎の題材ともなった。

一方、日本で慶応2年(1866)から一般人の海外渡航が可能になると、最初に旅券(旅券番号1～18)を取得して横浜から出航したのはじつは曲芸師の団であり、その後も多数の日本人曲芸師と見世物関係者が海を越え、主として欧米で活躍した。のちには、海外体験を経た「洋行帰り」の者たちが明治の興行界で活躍する。

こうして見世物もまた、海外との相互交流のなかで「西洋化」の荒波の時代を生き、その姿を容れさせていった。見世物の「近代」を見つめることで、私たちが抱えて立つ過去の時代と文化を少しでも知っていただければ幸いです。

監修:川添裕(横浜国立大学教授)

主な展示資料

I 開国前後の見世物

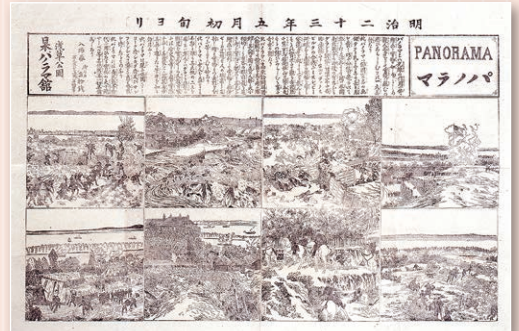
- ★錦絵 浅草奥山生人形 安政2年 江戸・浅草奥山(中段左)
- ◎錦絵 リズリーサーカス 元治元年 横浜居留地 ①
- ◎絵巻付 オランウータン 明治5年 京都・蛸薬師境内 ②
- ★錦絵 異国渡り大象の図 文久3年 江戸・西両国広小路(中段右)

II 明治を彩る外国見世物

- ★錦絵 チヤリネ大曲馬御遊覧の図 明治19年 東京・吹上御苑(下段)
- ★錦絵 上野公園風船の図 ボールドウィン氏 スペンサー氏 明治23年 東京・上野公園(上段右)
- ◎絵巻付 PANORAMA パノラマ 明治23年 東京・浅草日本パノラマ館 ③
- ◎錦絵 世界無比不可思議奇術 米国ウラッシ、ノアトン社中 明治21年 東京・千歳座 ④

III 見世物の新たな展開

- ◎寄席ピラ 開花早学文 耶蘇教講議 帰天斎正一 明治初期 東京・浅草石浜亭カ ⑤
- ◎絵巻付 古今無双 東洋奇術一大改良 ジャグラー操一社中 明治21年 東京・浅草文楽座 ⑥
- ★絵巻付 世界無比大奇術 松旭斎天一師 天二師 天勝嬢 明治44年 東京・明治座(上段左)
- ★はチラシ表面に掲載 ◎はチラシ裏面に掲載



3



4



5



6

国立演芸場 1階・演芸資料展示室

National Engei Hall・Exhibition room

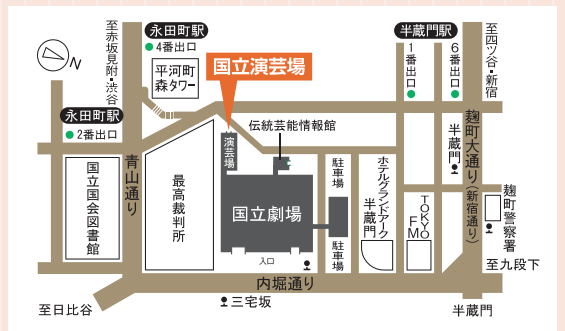
独立行政法人 日本芸術文化振興会 Japan Arts Council

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1 Tel:03-3265-7411(代表)

<https://www.ntj.jac.go.jp/>

●展示に関するお問合せ 国立劇場 調査資料課

Tel:03-3265-7061(平日:午前10時～午後5時30分) Fax:03-3265-6066



- 地下鉄 半蔵門駅(半蔵門線)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)・1番出口徒歩8分
有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩5分
- 都バス 都03(晴海埠頭一四谷駅)三宅坂徒歩1分(本数僅少)
宿75(新宿駅西口一四谷駅)三宅坂徒歩1分(本数僅少)

お客様へのお願い

- ご入場の際、サーモグラフィーによる検温を行います。発熱等の症状がある場合、入場をご遠慮いただきます。
- 展示室内では、他のお客様との間隔を空けてご鑑賞ください。
- 展示室内では大声での会話はお控えいただき、静かにご鑑賞ください。
- 手洗いや手指消毒のご協力をお願いいたします。